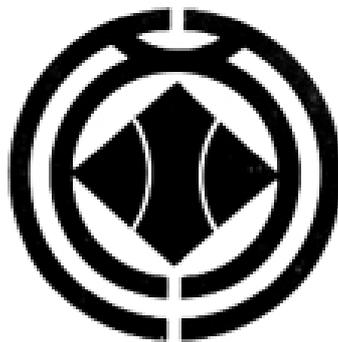


平成23年度
予算説明書

町民の生命を守り
安全・安心なまちづくり



花と歌舞伎と名水のまち

小 鹿 野 町

目 次

はじめに	1
平成23年度 予算規模について	2
自然と歴史に囲まれた住みよい生活環境づくり	3
健康と福祉のまちづくり	8
ふるさとの明日を担う心豊かな人づくり	12
地域に根ざした活気あふれる産業づくり	17
資料編	
1 財政指標	22
2 一般会計当初予算の推移	22
3 平成23年度予算の状況	23
4 町税の推移	24
5 普通交付税の推移	24
6 基金（貯金）の推移	25
7 地方債（借金）残高の推移	25
8 職員数の推移（一般会計）	25

はじめに



わが国経済は、平成20年の世界金融危機により、深刻なダメージを受け、未だデフレ不況の後遺症から立ち直れないところであります。また、3月11日に発生した東日本大震災により東北から関東北部にかけて甚大なる被害を受け、企業活動の休止・停滞が相次ぎ、今後税収の減収が予想されるなど、ますます厳しい財政運営が課されると考えています。

このような大変厳しい行財政事情ではありますが、「町民の生命を守り、安全・安心なまちづくり」を念頭に、町民生活に潤いと活力を与えられる施策を積極的に展開していく所存であります。

平成23年度の小鹿野町一般会計予算は、64億1千万円、対前年度比4.5%、2億7千500万円の増額となっております。また、国の緊急総合経済対策・地域活性化交付金や安全・安心な学校づくり交付金を活用し、平成22年度予算に事業費を前倒しで計上し、平成23年度予算と一体的に執行することといたしました。さらに、不測の事態に備え蓄えてきた財政調整基金等の繰入を行うなど、思い切った財政支出にも意を用いたところでもあります。

私はこれからも、町民の皆様が安心して暮らせるまちづくりに職員と一丸となり、全力で取り組んでいく所存でありますので、皆様方のなお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、発行にあたっての挨拶といたします。

平成23年5月

小鹿野町長 福島弘文



町の花：セツブンソウ



町の木：モミジ



町の鳥：ウグイス

平成23年度 予算規模について

予算規模

会計名	予算額	対前年度比
一般会計	64億1,000万円	4.5%
国民健康保険特別会計	17億398万円	9.6%
後期高齢者医療特別会計	2億4,724万4,000円	7.3%
介護保険特別会計	14億9,077万2,000円	7.2%
浄化槽設置管理等特別会計	1億3,630万円	4.7%
病院事業会計	15億5,123万3,000円	11.5%
水道事業会計	3億8,749万1,000円	0.7%
国民宿舎事業会計	2億5,696万4,000円	5.9%
合計	121億8,398万4,000円	6.0%

(注 対前年度比欄のは減少)

緊急経済対策予算(一般会計)

国の交付金を受けて次の事業が町の平成22年度補正予算に計上・繰越され、平成23年度予算(64億1,000万円)と一体として実施されます。

事業名	予算額	内容
地域活性化・きめ細かな交付金 町道整備事業	7,370万円	生活道として重要な町道の整備を実施します。
住民生活に光をそそぐ交付金 図書拡充事業	1,744万円	学校図書及び図書館図書の拡充を実施します。
安全・安心な学校づくり交付金 小学校施設整備事業	6億5,561万円	小学校の大規模改修・エアコン設置などを実施します。
安全・安心な学校づくり交付金 幼稚園舎等維持管理事業	1,870万円	幼稚園にエアコンを設置します。
合計	7億6,545万円	

自然と歴史に 囲まれた住みよい 生活環境づくり

土地利用 居住環境 自然環境
安全な暮らし 中心市街地の活性化
高度情報通信基盤の整備

尾ノ内溪谷



小鹿野町には、四季折々の自然美に加え、先人から受け継がれてきた伝統文化が息づいています。

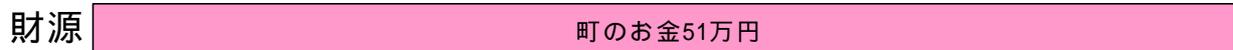
このかけがえのない財産を守り、皆さんが将来にわたって安心して暮らせる生活環境の整備は、必要不可欠なものです。

自然公園等維持管理事業 1,405万円 (担当:産業観光課)



町民の皆さんが心を癒し、明日への活力を取り戻す優れた風景地を保護するとともに、自然公園等の適切な維持管理を行います。

森の癒し効果促進事業 51万円 (担当:総合政策課)

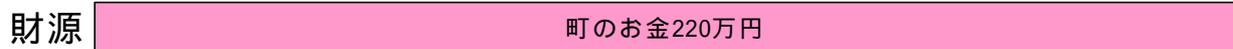


森の持つ癒し効果と地域医療や観光資源を連結させ、健康の維持・元気回復を目的に、里山案内人のスキルアップ等を行っていきます。

両神薄・ダリア園



住宅用太陽光発電設備・高効率給湯器設置補助事業 220万円 (担当:住民課)



地球に優しいエネルギー社会の実現や節電効果の向上のため、設置費の一部を助成します。

定住促進対策事業 100万円 (担当:総合政策課)



町外からの転入者を温かく受け入れるため、町内に住宅を建設した場合、一定期間奨励金を交付します。

町営住宅管理事業 4,560万円 (担当:建設課)

財源	家賃収入4,560万円
----	-------------



笠原団地

昨年度新たに笠原団地18戸を整備し、総計346戸の町営住宅の施設維持管理に必要な経費です。

住宅リフォーム資金助成事業 1,000万円 (担当:産業観光課)

財源	町のお金1,000万円
----	-------------

好評の住宅リフォーム資金助成事業については、経済不況下における地域の活性化に資するため、今年度も引き続き実施します。

地籍調査事業 2,139万円 (担当:建設課)

財源	県の補助金900万円	町のお金1,239万円
----	------------	-------------

円滑な土地利用の推進に資するため、正確な地籍図や地籍簿の整備を行います。今年度も引き続き、般若地内の0.38km²を調査します。

水道事業会計 3億8,749万円 (担当:水道課)

財源	事業収入2億5,154万円	町のお金1億3,059万円
----	---------------	---------------

県の補助金536万円

安全・安心でおいしい水の安定供給を図るとともに、簡易水道事業を上水道事業へ統合することにより、経営改善も推進していきます。

衛生センターし尿処理事業 1億6,522万円 (担当:衛生課)

財源	事業収入5,057万円	町のお金1億1,443万円
----	-------------	---------------

県の補助金22万円

高性能合併処理浄化槽の普及推進を図るとともに、衛生センター内にある処理設備等のオーバーホールなどを行います。

浄化槽設置管理等特別会計 1億3,630万円 (担当:衛生課)

財源	使用負担金3,594万円	国の補助金3,736万円	町のお金6,300万円
----	--------------	--------------	-------------

(うち借金2,880万円)

高性能合併処理浄化槽は、町の施設として一元化して設置・管理を行っています。

常備消防事業 2億4,072万円 (担当:住民課)

財源	町のお金2億4,072万円
----	---------------

秩父広域市町村圏組合で行っている消防・救急活動に係る負担金です。秩父消防本部及び各消防分署の活動費として使われます。

非常備消防事業 6,862万円 (担当:住民課)

財源	共済組合から1,600万円	町のお金5,262万円
----	---------------	-------------

5支団27分団の総計562人の団員活動費、共済組合への負担金などの費用です。



特別点検

防災事業 1,040万円 (担当:住民課)

財源	町のお金1,040万円
----	-------------

防災行政無線の維持管理費を含めた防災関係費です。

道路新設改良事業 9,880万円 (担当:建設課)

財源	国の補助金2,050万円	町のお金7,830万円(うち借金6,000万円)
----	--------------	--------------------------

引き続き、幹線道路である町道89号線(北裏通り)の改良工事などを行います。

町営バス運行事業 6,569万円 (担当:両神庁舎管理課)

財源	運行収入982万円	県の補助金1,000万円	町のお金4,587万円
----	-----------	--------------	-------------

現在5路線を運行していますが、利用者の皆様の利便性向上のため、昨年行った社会実験路線の利用状況及び利用者アンケート等をもとに、路線変更の検討にも取り組んでいきます。



昨年購入した町営バス

過疎バス対策事業 2,520万円 (担当:総合政策課)

財源	県の補助金533万円	町のお金1,987万円
----	------------	-------------

西武観光バス(株)が運行している志賀坂線及び倉尾線の赤字分を補てんしています。また、昨年から町営バスに加え、西武観光バス志賀坂線並びに倉尾線についても無料乗車券(77歳以上)を交付し、皆様の利便性向上を図っています。

まちづくり活動推進事業 614万円 (担当:総合政策課)

財源	国の補助金240万円	町のお金374万円
----	------------	-----------



町内に史跡案内板を設置するとともに、路面上にも表示板を設置し、景観の向上や町を訪れた人たちの利便性の向上を図っていきます。

また、今年度も「路地ST」を開催し、市街地の路地の魅力を全国に発信していきます。

街並み修景整備補助事業 200万円 (担当:産業観光課)

財源	町のお金200万円
----	-----------

町の歴史と風土を活かし、魅力ある商店街の街並み景観整備を図るための店舗改修等に対し、補助金を交付します。

ミューズパーク関連施設運営事業 1,524万円 (担当:産業観光課)

財源	スカイトレイン使用料300万円	レンタルサイクル使用料1,150万円	町のお金74万円
----	-----------------	--------------------	----------

スカイトレインとレンタルサイクルの管理運営業務の委託事業です。委託先は小鹿野町振興公社で、昨年「サイクルランド」を開設し、小さな子ども達が安心して特殊自転車を楽しめるようにしました。

サイクルランド



地域交通再構築事業 232万円 (担当：総合政策課)

財源	利用料13万円	町のお金219万円
----	---------	-----------

利用者の利便性向上を図るために、バス路線の見直しを検討していきます。今年度は、下小鹿野並び伊豆沢地域でデマンド型バスによる社会実験を行います。

デマンド型バス：路線バスの形態とは異なり、電話等による(複数の)利用者の希望乗降点(バス停若しくは拠点施設)及び乗降車時刻の要求に応じて、希望乗車点へ迎えに行く形の経路で運行するバスのことです。

公衆トイレ管理事業 2,325万円 (担当：住民課)

財源	町のお金2,325万円
----	-------------

町内26箇所にある公衆トイレの維持管理を行っています。今年度は、その内3箇所のトイレを水洗化します。

きめ細かな交付金事業

町道整備事業 7,370万円 (担当：建設課)

財源	国の補助金6,833万円	町のお金537万円
----	--------------	-----------

国の交付金を活用し、町道274号線他5路線の改良、町道両神3号線他11路線の舗装工事などを実施します。



町道108号線

健康と福祉の まちづくり

健康づくりと医療 地域福祉の充実
高齢者の保健福祉
障がい者の自立と社会参加
子育て支援 生活の安全と支援



急速に少子高齢化が進む中、子どもからお年寄りまで、全ての町民が健康で安心して暮らせていけるよう町立病院を核とした、地域包括ケアシステムの充実に取り組んでいきます。

また、中学生までの医療費の助成や保育所の増改築を行うなど、子育て支援を積極的に推進していきます。

町立病院

町立病院事業会計 15億5,123万円 (担当：町立病院)

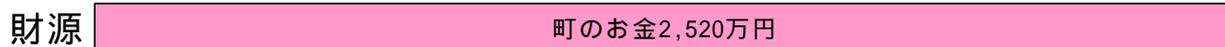


全国的に医師不足が深刻化している中、町立病院の医師確保についても厳しい状況が続いていますが、一刻も早く確保できるよう引き続き、鋭意努力を重ねていきます。

また、利用者の利便性向上を図るため、オーダリングシステムを導入します。

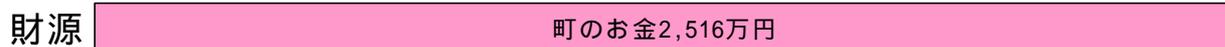
オーダリングシステム：検査や薬の処方などにかかわる情報伝達システムのことで、カルテを電子化することにより業務の省力化とより良いサービスの提供を目指すものです。

医学生修学資金等貸付事業 2,520万円 (担当：保健福祉課)



全国的に医師不足が続いている状況を踏まえ、将来にわたる町立病院の医師確保に努めます。

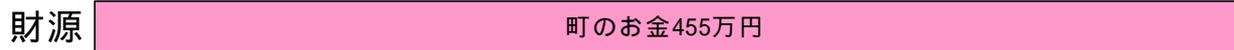
ちちぶ定住自立圏推進事業 2,516万円 (担当：総合政策課)



秩父圏域全体で、医師・医療スタッフの確保や負担軽減を図るために、医師の招へいはもとより教育研修プログラムの作成、医師・医療スタッフが安心して働ける勤務環境整備などの体制づくりを支援していきます。

また、観光など様々な分野における人材育成の支援も行っています。

保健福祉センター運営事業 455万円 (担当：保健福祉課)

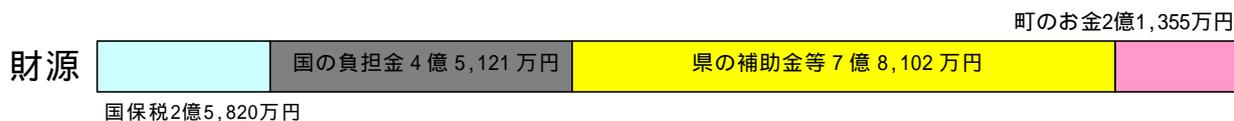


町立病院と保健福祉センターが連携しながら、デイサービスセンターの機能も十分活用して町民の皆さんの健康増進を支援し、安心して暮らせていける地域社会づくりを推進していきます。

健康まつり



国民健康保険特別会計 17億398万円 (担当：保健福祉課)



急速な高齢化や医療費の高騰などにより、国民健康保険事業は大変厳しい財政運営が続いています。そのため今年度は過去最高となる一般会計からの繰出金を行います。

妊婦健診助成事業 997万円 (担当：保健福祉課)



年14回の妊婦健診に対する助成を行います。

出産褒賞金支給事業 255万円 (担当：住民課)



子育て支援の一環として、出産時に褒賞金(第1子1万円・第2子3万円・第3子以降の子5万円)を支給します

子ども手当支給事業 2億6,931万円 (担当：住民課)



オヒナゲエ

昨年度から開始された事業ですが、今後国の動向により支給内容が変更されることも予想されます。

予防接種費助成事業 6,348万円 (担当：保健福祉課)

財源	県のお金1,182万円	町のお金5,166万円
----	-------------	-------------

今年度0歳から5歳までの乳幼児を対象としたヒブワクチンや中学生を対象とした子宮頸がんワクチン、高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンの接種費の助成を行います。

子ども医療費助成事業 3,362万円 (担当：住民課)

財源	県のお金492万円	町のお金2,870万円
----	-----------	-------------

中学校修了までの子ども医療費の無料化に取り組み、保護者の負担軽減を図ります。

子育て支援センター管理運営事業 689万円 (担当：住民課)

財源	県の補助金231万円	町のお金458万円
----	------------	-----------

子育て家庭に対する育児相談や子育てサークルへの支援に取り組んでいます。

保育所管理運営事業 3億6,504万円 (担当：住民課)

保育料等4,757万円		
財源	国の補助金4,030万円	町のお金2億4,240万円 (うち借金2,500万円)

町立保育所の運営費をはじめ、民間や他市町村保育所の入所に要する委託費などの関係費用です。

今年度は、待機児童解消を図るため、両神保育所を増改築するとともに、小鹿野保育所の保育スペースを拡充します。



放課後児童対策事業 2,443万円 (担当：住民課)

利用料292万円		
財源	県の補助金856万円	町のお金1,295万円

町直営の両神学童保育室と民間委託の小鹿野学童クラブの運営関係経費です。

老人福祉事業 5億876万円 (担当：保健福祉課)

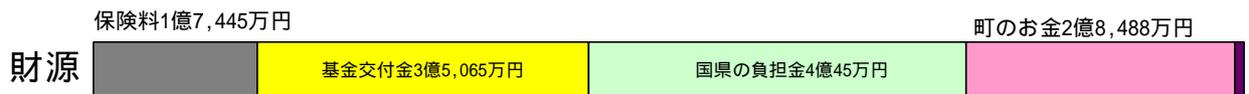
事業収入5,256万円		
財源	国県の負担金3,376万円	町のお金4億2,244万円

主に次の事業を行っています。詳しくは保健福祉課までお問い合わせください。

- | | |
|-------------|----------------|
| 敬老祝い金支給事業 | 老人クラブ活動費補助 |
| 敬老会開催費 | シルバー人材センター運営補助 |
| 特別養護老人ホーム補助 | 秩父荘の管理運営委託 |
| 倉尾けんこう館の運営 | 両神高齢者福祉センターの運営 |

後期高齢者医療特別会計 2億4,724万円（担当：保健福祉課）

急速な高齢化の進行に伴い、今後も医療費の増加が見込まれることから、引き続き積極的な疾病予防の推進に取り組んでいきます。

介護保険特別会計 14億9,077万円（担当：保健福祉課）**保険事業勘定 12億1,057万円****サービス事業勘定 2億8,020万円****障がい者更生援護支援事業 907万円（担当：保健福祉課）**

更生医療費や補装具給付費が主なものです。

障がい者自立支援事業 2億2,647万円（担当：保健福祉課）

障がい者の方が、地域で安心して暮らせるよう自立を支える事業です。介護給付、訓練などを行います。

障がい者地域生活支援事業 1,233万円（担当：保健福祉課）

心身障がい者の相談支援事業、コミュニケーション支援事業、日常生活用具の給付事業、移動支援事業などを行い、障がい者の地域における生活を支援します。

ふるさとの 明日を担う 心豊かな人づくり

幼児と学校教育 社会教育と文化活動
スポーツ・レクリエーション
人権尊重 青少年健全育成



両神小森諏訪神社

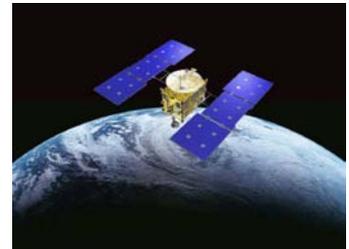
当町の地域の特性を活かしながら、皆さんが意欲的に学び、スポーツや文化活動に取り組める環境づくりに努めます。

また、地域の歴史や文化に触れ、自ら体験することは、心を豊かにし明日への活力を生むための重要な要素となっています。

「はやぶさ」帰還カプセル等展示事業 500万円 (担当：総合政策課)

財源	町のお金500万円
----	-----------

将来を担う子ども達に宇宙への夢を育み、何事にもあきらめずに最後まで努力する、強くたくましい心を養うことを目的に実施します。



写真提供：JAXA

安全・安心な学校づくり交付金事業 7億3,863万円 (担当：学校教育課)

小学校施設整備事業 7億1,993万円

財源	国のお金2億2,760万円	町のお金4億9,233万円(うち借金4億3,110万円)
----	---------------	------------------------------

小鹿野・長若・両神小学校校舎の大規模改修工事や、各小学校にエアコンを設置します。また、太陽光発電設備を設置する工事も行います。

幼稚園園舎等維持管理事業 1,870万円

財源	国のお金788万円	町のお金1,082万円
----	-----------	-------------

夏場の暑さ対策のため、各幼稚園にエアコンを設置します。

住民生活に光をそそぐ交付金事業 1,744万円 (担当:学校教育課・公民館)

財源	国の補助金1,684万円	町のお金60万円
----	--------------	----------

町内各小中学校並びに町立図書館の図書の実質化を図ります。

義務教育支援事業 3,215万円 (担当:学校教育課)

財源	町のお金3,215万円
----	-------------

今年度も子育て支援策として、第2子以降の給食費と教材費の一部無料化に取り組み、保護者の負担軽減を図ります。

学校教育支援事業 2,205万円 (担当:学校教育課)

財源	町のお金2,205万円
----	-------------

学校生活指導補助員を配置し、個々の児童に応じた指導の実質と学習指導の円滑な実施に取り組みます。

小中学校英語指導助手派遣事業 1,100万円 (担当:学校教育課)

財源	町のお金1,100万円
----	-------------

英会話を通じた英語教育の実質を図るため、小中学校、幼稚園や保育所にも指導助手の派遣を行います。

中学校施設整備事業 1,180万円 (担当:学校教育課)

財源	町のお金1,180万円 (うち借金700万円)
----	-------------------------

適切な教育環境を提供するため、今年度は三田川中学校校舎の耐震補強工事の設計業務や小鹿野中学校の防球ネットの改修などを行います。

フレンドリー相談員配置事業 875万円 (担当:学校教育課)

財源	県の補助金583万円	町のお金292万円
----	------------	-----------

児童生徒の学習や心の問題等に対応するため、フレンドリー相談員を配置し、健全な児童生徒の育成に取り組みます。

スクールバス運行事業 757万円 (担当:学校教育課)

財源	町のお金757万円
----	-----------

小中学校の児童生徒の通学用のスクールバス運行にかかる経費です。

幼稚園バス運行事業 1,061万円 (担当:学校教育課)

財源

町のお金1,061万円



小鹿野・三田川・両神幼稚園の通園バスの運行にかかる経費です。

両神幼稚園バス

児童・生徒遠距離通学費助成事業 175万円 (担当:学校教育課)

財源

町のお金175万円

バス通学する児童生徒のバス代を補助し、保護者の負担軽減を図ります。

放課後子ども教室推進事業 133万円 (担当:学校教育課)

財源

県の補助金89万円	町のお金44万円
-----------	----------

各小学校区において、子どもたちが放課後や週末等を利用して、地域の方々との交流活動に取り組んでいます。

生涯学習まちづくり推進事業 43万円 (担当:社会教育課)

財源

町のお金43万円

生涯学習を推進するための各種講座を開催します。

文化団体連合会育成事業 56万円 (担当:公民館)

財源

町のお金56万円

文化団体の育成を図り、生涯学習の充実を推進します。

各種講座開催事業 74万円 (担当:公民館)

財源

町のお金74万円

子どもから大人までを対象に、各種講座を開催します。

町民劇場開催事業 160万円 (担当：公民館)

財源	入場料70万円	町のお金90万円
----	---------	----------

町民の皆さんが感動や安らぎを感じられるような催し物を開催します。

総合運動公園維持管理事業 904万円 (担当：社会教育課)

財源	利用料106万円	町のお金798万円
----	----------	-----------

総合運動公園の野球場、テニスコート等の維持管理費です。

ロードレース大会開催事業 248万円 (担当：社会教育課)

財源	町のお金248万円
----	-----------

この大会は、町外からも多くの参加者があり、スポーツを通して町のPRにも大いに貢献しています。

スポーツ振興事業 652万円 (担当：社会教育課)

財源	町のお金652万円
----	-----------

体育協会、スポーツ少年団、地区運動会、チャレンジデー実行委員会等への補助を実施しています。今年度は一昨年開催し好評を博したイースタンリーグ戦開催に伴う実行委員会に対する補助も行います。



一昨年のイースタンリーグ戦

指定文化財管理事業 315万円 (担当：社会教育課)

財源	町のお金315万円
----	-----------

指定文化財の保存管理を充実するため、復元修理に対する補助や保存活動奨励金の交付を行っています。今年度は、諏訪神社(般若)本殿修繕などの補助を行います。

文化財資料整備事業 308万円 (担当：社会教育課)

財源	町のお金308万円
----	-----------

民俗資料や古文書のほか、合角ダム水没地域の出土品、動植物の化石標本等多くの貴重な資料を有効活用できるよう整備を進めています。

歌舞伎のまちづくり事業 488万円（担当：社会教育課）

財源

町のお金488万円

地元での定期上演や、日本各地で行われる訪問上演を通じ、町の文化大使として地域間交流活動を展開しています。昨年度の郷土芸能祭には、町独自の創作歌舞伎を上演しました。



津谷木・お天狗様

人権施策推進事業 97万円（担当：総務課）

財源

町のお金97万円

町民一人ひとりが人権について正しい理解と認識を高められるよう啓発活動を推進します。



人権教育推進事業 121万円（担当：社会教育課）

財源

町のお金121万円

さまざまな差別をなくすため、小中学校を対象に「人権教育の集い」を開催します。また、小鹿野町人権教育推進協議会と連携して町民の皆さんを対象とした「人権教育研修会」、「地区別学習会」等を開催するほか、町内各小中学校から作品を募集し、「人権標語・作文集の編集発行」を行います。

地域に根ざした 活気あふれる 産業づくり

農林業
工業
商業・地域産業
観光



農林業を魅力ある産業として育成していくために、農林産物のブランド力の強化を図り、農林業経営の基盤を安定させていくことはこれからの時代重要となっていきます。

また、道路網や通信網の整備を推進することで、既存企業の経済活動を支えるとともに、新たな企業の誘致につなげ、さらには、町を訪れる人が多くなることで、地域の振興もあわせて図っていきます。

山村振興等農林漁業特別対策事業 4,231万円 (担当：産業観光課)

財源 県の補助金4,230万円 町のお金1万円

国の農山村活性化プロジェクト支援事業を活用し、ブランド野菜の創出に取り組む、低コスト耐候性ハウスの建設費を助成します。

かんがい排水路整備事業 402万円 (担当：産業観光課)

財源 県の補助金149万円 町のお金253万円

今年度は、長留旗井（ハタイ）地区の排水路工事を実施します。

農業団体への補助事業 206万円 (担当：産業観光課)

財源 町のお金206万円

農業生産部会や農業生産組合等の活動に対して助成を行います。

新規就農者育成事業 550万円 (担当：産業観光課)

財源 町のお金550万円

出荷を目的とした新規就農者を対象に必要な資材費の一部を補助します。

中山間地域等直接支払制度事業 426万円 (担当：産業観光課)

財源	県の補助金310万円	町のお金116万円
----	------------	-----------

中山間地域の環境の保全のため景観作物の栽培や、草刈りなど地域の共同による取組みを支援して行きます。

遊休農地解消総合対策事業 73万円 (担当：産業観光課)

財源	町のお金73万円
----	----------

遊休農地の解消を目的に、耕作希望のある方へ苗木や種子等の購入費を補助します。

水路維持管理事業 228万円 (担当：産業観光課)

財源	町のお金228万円
----	-----------

小鹿野用水をはじめ、各地域にある用水路の維持管理の経費です。

山村生活安全対策事業 723万円 (担当：産業観光課)

財源	県の補助金175万円	町のお金548万円
----	------------	-----------

人家に近い危険な裏山等の落石防止対策工事や治山工事を実施します。今年度は、両神薄日向地内の改良工事を行います。

森林管理道改良事業 1,915万円 (担当：産業観光課)

財源	町のお金1,915万円 (うち借金 460万円)
----	--------------------------

昨年度に引き続き、日蔭入線・浦島線及び塩沢線の改良工事などを行い、利便性向上に努めます。

両神農林産物直売所運営事業 791万円 (担当：産業観光課)

財源	販売手数料791万円
----	------------

直売所は農林産物の生産の安定化と生産者の経営安定化に貢献しています。

資源活用センター運営事業 1,998万円 (担当：産業観光課)

財源	売上収入1,430万円	町のお金428万円	体験収入140万円
----	-------------	-----------	-----------

地元産の食材を使ったそば、うどん、豆腐づくりの体験や販売、食事もできる資源活用センターは、隣接する薬師の湯や農林産物直売所とともに、観光農業活性化の一躍を担っています。

長尾根農林産物直売所運営事業 843万円 (担当：産業観光課)

財源	売上手数料350万円	町のお金493万円
----	------------	-----------

秩父ミュージックパーク内にあり、長若産の新鮮野菜・山菜などを販売しています。

有害鳥獣駆除事業 537万円 (担当：産業観光課)

財源	県の補助金147万円	町のお金390万円
----	------------	-----------

有害鳥獣による被害は年々拡大の傾向にあります。今年度も、鳥獣害防止対策に係る費用の一部を補助いたします。

観光地整備事業 530万円 (担当：産業観光課)

財源	町のお金530万円
----	-----------



日本百名山の一つに選ばれている両神山には、毎年多くの登山者が訪れます。今年度は八丁峠駐車場に環境配慮型トイレを設置します。

日本百名山・両神山

商工団体への補助事業 757万円 (担当：産業観光課)

財源	町のお金757万円
----	-----------

西秩父商工会、バンビサービス協同組合、七夕フェスティバル実行委員会等に対する補助を行います。

小口融資資金貸付金利子補給事業 1,312万円 (担当：産業観光課)

中小企業資金貸付金利子補給事業 378万円 (担当：産業観光課)

財源	町のお金1,690万円
----	-------------

町内の中小企業の経営のために必要な資金として借入れた資金の年間利子に対し、一定の補助を行います。

工業導入対策事業 26万円 (担当：総合政策課)

財源	町のお金26万円
----	----------

町内への企業誘致対策に取り組みます。

オートバイによるまちおこし事業 25万円 (担当：総合政策課)

財源	町のお金25万円
----	----------

ライダーに向けた、交通安全とマナーアップ向上に対する啓発活動に取り組みます。

観光関係団体への補助事業 857万円 (担当：産業観光課)

財源	町のお金857万円
----	-----------

小鹿野両神観光協会、両神ふるさとまつり実行委員会等に対する補助を行います。「両神ふるさとまつり」も例年通り開催します。

旧本陣寿旅館管理事業 177万円 (担当：総合政策課)

財源	町のお金177万円
----	-----------

昨年度改築に着手、今年度は観光情報館として指定管理者による運営を目指します。

両神温泉薬師の湯運営事業 7,631万円 (担当：産業観光課)

財源	利用収入3,090万円	売店等収入2,602万円	町のお金1,939万円
----	-------------	--------------	-------------



両神国民休養地・花ショウブ園

町民の皆さんの癒しの場として、また町の観光情報の発信基地の重要拠点となっています。



道の駅・両神温泉薬師の湯

みどりの村管理運営事業 376万円 (担当：産業観光課)

財源	利用料15万円	町のお金361万円
----	---------	-----------

そば打ち体験や小動物触れ合いコーナーなど、毎月楽しい催し物が開催されます。

国民宿舎「両神荘」事業会計 2億5,696万円 (担当:産業観光課)

財源	収入2億676万円	町のお金5,020万円
----	-----------	-------------

景気低迷による利用者の減少が見込まれることから、各種団体に対する誘客活動を展開し、経営の健全化に努めます。

緊急雇用対策「ふるさと雇用再生基金事業」 2,470万円

財源	県のお金2,470万円
----	-------------

県の補助金を受け、主に次の事業を実施します。

ふれあいいきいきサロンの運営 (担当:保健福祉課)

ハウス利用の農業栽培就農希望者支援 (担当:産業観光課)

緊急雇用対策「緊急雇用創出基金事業」 2,167万円

財源	県のお金2,167万円
----	-------------

県の補助金を受け、主に次の事業を実施します。

鳥獣害対策・ダリア園景観整備 (担当:産業観光課)

町内ハイキングコースの環境整備 (担当:産業観光課)

学校環境整備・ICT支援員の配置 (担当:学校教育課)



日本の滝百選・丸神の滝

1 財政指標

区分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	判断基準
財政力指数(3カ年平均)	0.42	0.43	0.42	高いほうが良い
経常収支比率	82.6	81.3	81.2	低いほうが良い
公債費負担比率	15.8	15.7	15.9	低いほうが良い
実質公債費比率	16.8	15.6	15.0	低いほうが良い
将来負担比率	131.5	107.6	87.8	低いほうが良い

【用語解説】

財政力指数 標準的にかかる経費に対する自主的な収入割合で、指数が高いほど財源に余裕があることとなります。

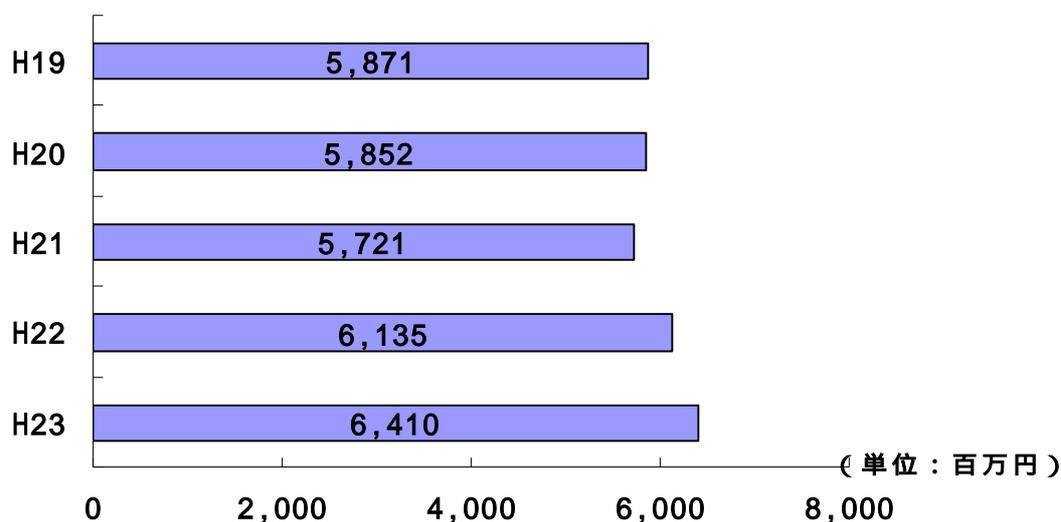
経常収支比率 財政構造の弾力性を判断する比率で、指数が低いほど弾力性が大きいこととなります。

公債費負担比率 公債費(借金返済)に充てられた一般財源の一般財源総額に占める割合です。

実質公債費比率 平成17年度決算から導入された指標で、標準的な財政規模に占める元利償還金等(公営企業会計への繰出金のうち公債費に当たるものも含まれます。)の割合で、18%を超えると地方債の発行に許可が必要となります。

将来負担比率 一般会計の借金(町債)や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。

2 一般会計当初予算の推移



ワンポイント

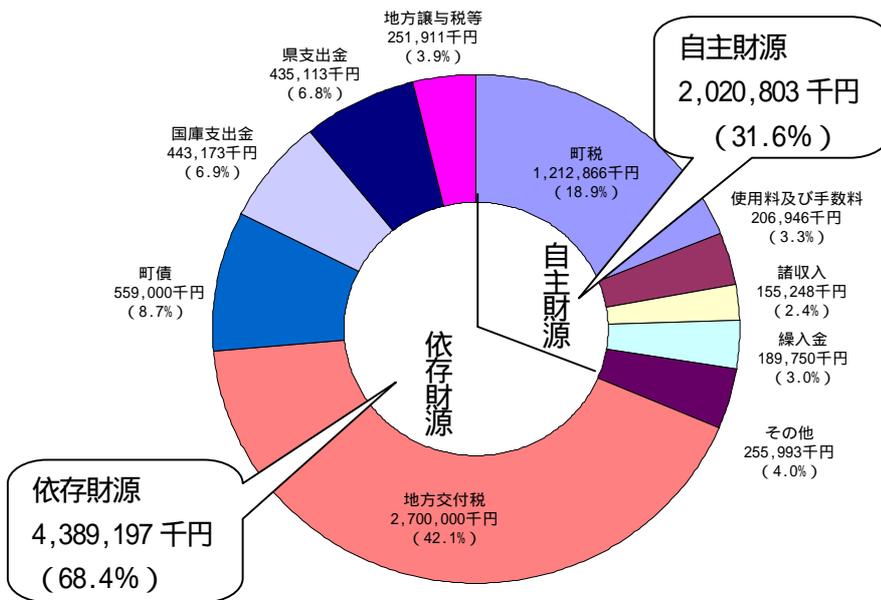
予算額は、その年に建設事業(施設等の建設・整備)等をどれだけ行うかにより大きく増減します。

大規模な道路施設等の建設事業がある年には増え、終了した時に減りますので、一概にその評価はできませんが、一つの目安としては基金(貯金)から繰入れ(取り崩し)が0での予算額になれば当該年度の収入で賄われている予算となります。

3 平成23年度予算の状況

一般会計予算 64億1千万円

歳入



【用語解説】

地方交付税 行政サービスの一定水準の確保と自治体間の不均衡を調整するため国から交付されるものです。地方交付税は普通交付税と災害など特別な事情により配分される特別交付税があります。

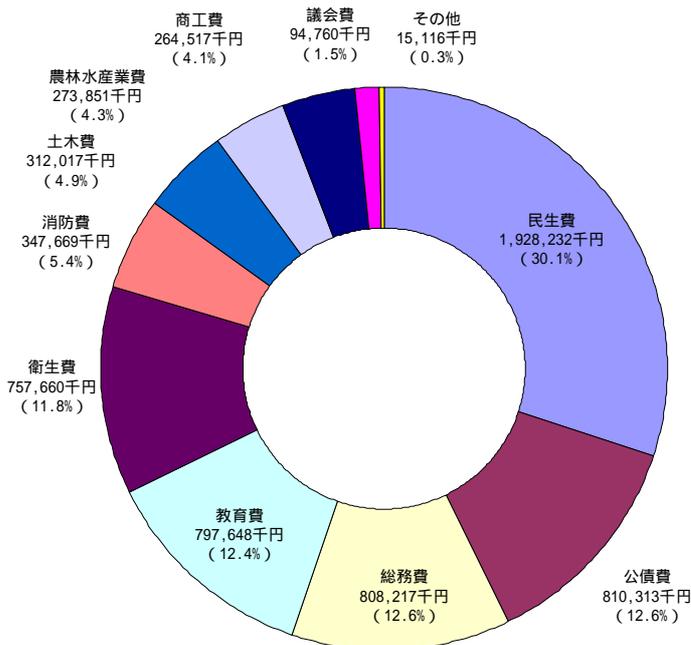
町債 町の借金で、将来にわたって返済が必要です。

繰入金 貯金(基金)からの収入(取り崩し)です。

ワンポイント

国や県の動向に左右されない財政運営(やりくり)を行うには自主財源が多いほうが好ましいとされています。

歳出



【用語解説】

公債費 町の借金を返すためのお金です。

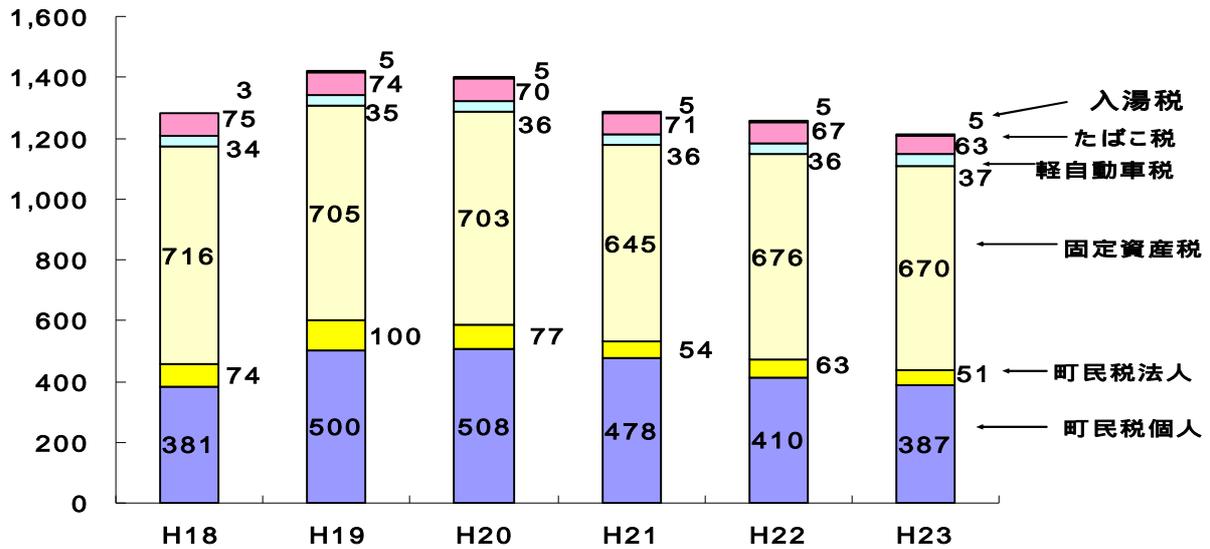
ワンポイント

道路や各種施設の建設時に、その資金として借り入れたお金の返済金が公債費ですが、町民の皆さんにとっての費用対効果の視点に立って借り入れを行い、その削減に努力していくことが健全な町の財政を維持していくためにも必要となってきています。

4 町税の推移

(単位：百万円)

(H22.H23は見込額)



【用語解説】

町民税(個人) 個人の所得に対して課税される町の税金です。

町民税(法人) 会社等の所得に対して課税される町の税金です。

ワンポイント

町税収入は近年の景気低迷により、横ばいないし減少傾向にあります。
平成23年度の町税収入についても、減収見込みとなっています。

5 普通交付税の推移

ワンポイント

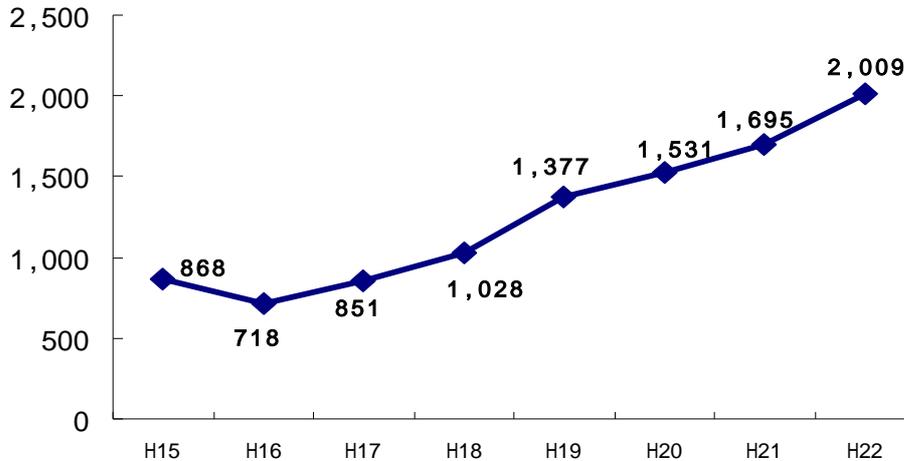
普通交付税は財源の中心となる収入ですが、交付額は国の財政状況等に左右されます。今後も収入に見合った支出が必要となりますので支出については、よりその内容を精査し、町民の皆さんに理解していただける内容にしていくよう努めていきます。

(単位：百万円)



6 基金（貯金）の推移

(単位：百万円) (H22は見込額)

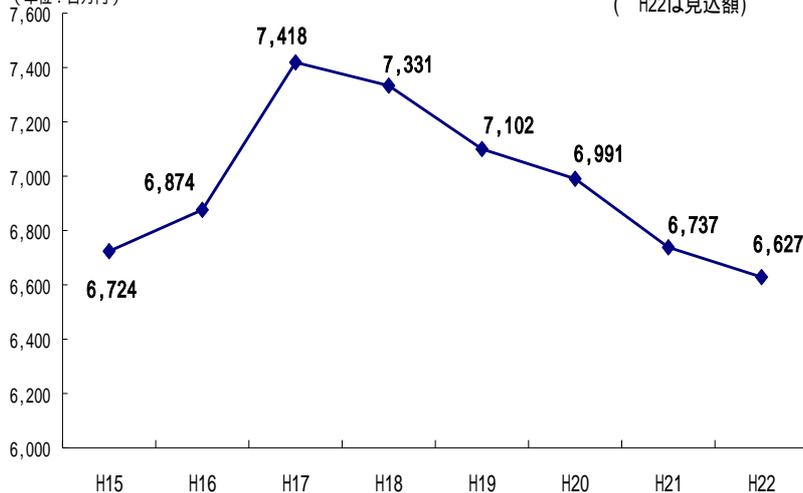


ワンポイント

基金は家計でいえば貯金にあたるものです。いざというときに備え、貯えておくことが必要なものです。今後の経済状況によっては大胆な支出も見据えていかなければなりません。

7 地方債（借金）残高の推移

(単位：百万円) (H22は見込額)



ワンポイント

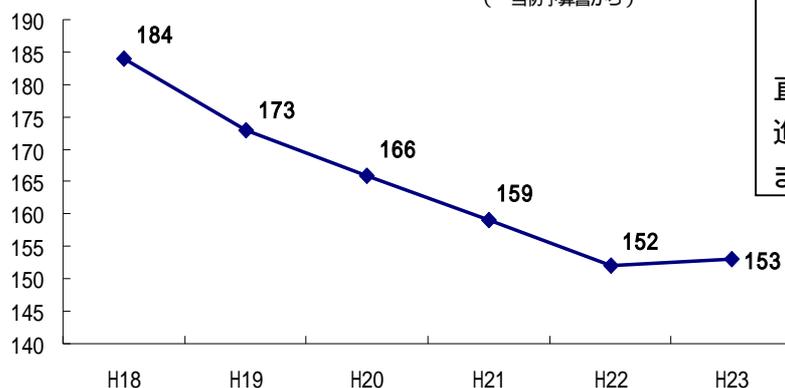
地方債（借金）については、残高の減少に努めてまいりましたが、今後は、学校施設の大規模改修等により増加が見込まれています。

また、地方債には、借金返済額に対し、決まった率で返済額の一部が地方交付税として交付されるものがあります。

今後とも交付税で措置される有利な地方債の活用を検討していきます。

8 職員数の推移（一般会計）

(単位：人) (当初予算書から)



ワンポイント

事務事業の整理合理化・組織の見直し、指定管理者による管理等を推進し、適正な定員管理を進めていきます。